

ネシア新首都 建設事業遅れが鮮明



インドネシアの新首都ヌサンタラの建設事業の遅れが鮮明になっている。特にインフラ整備の遅れが顕著だという。計画されていた道路や空港などの基盤整備が進んでおらず、事業頓挫の憶測も飛び交っている。昨年の独立記念式典も本来、

ヌサンタラで行われるはずだったが、ジャカルタとの同時開催となった。しかも、昨年10月に就任したプラボウォ新大統領の政権下で、大統領官邸や中央省庁、公務員宿舎への移転が「無期限」となり、計画の信頼性が揺らいでいる。

現政権下で25年度の首都建設予算が前年度比65%減少させたことも事業停滞の要因だ。省庁移転に必要な施設工事が進まず、計画の見直しが余儀なくされるなど、新首都移転事業は、ここに来て暗雲が差し込み始めている。

アジア経済新聞

ASIAN ECONOMIC NEWS

■ジャンル:国際(主にアジア) 国内 政治 経済 金融 環境 気候変動 クリーンエネルギー 建設 鉄鋼 製造 通信 スマートシティ 住宅・不動産 物流 テクノロジー 先端技術 外務省、国土交通省、経済産業省、国際協力機構(JICA)、ジェトロ、経済団体 オピニオン

■購読料:20,000円(年間)消費税込み

■発行元:一般社団法人海外インフラ研究協会／アジア経済新聞
東京都港区北青山2-7-20 猪瀬ビル2F 電話:080-4830-3330
代表理事 礒部猛也

■アジア経済新聞:編集責任者 千原直行
E-mail:chihara.naoyuki@gmail.com